

第 10 回青森県人づくり戦略推進会議

日 時：平成 29 年 2 月 14 日（火）

15:30～17:00

場 所：青森国際ホテル 3 階 孔雀の間

1 開会（司会：県企画政策部地域活力振興課長 松野 安弘）

2 知事あいさつ（県知事 三村 申吾）

3 議事

(1) 県の人財育成の概要

説明者：県企画政策部長 原田 啓一

資料 1 「次代を切り拓く人財の育成 一人は財^{たから}だ！青森県」のとおり

(2) 人財育成の取組の紹介

①人づくりグループの取組

・第 13 回日本の次世代リーダー養成塾

発表者：県立青森高等学校 2 年 柿崎 瑞穂さん

資料 2 「第 13 回日本の次世代リーダー養成塾」のとおり

・あおもり立志挑戦の会

発表者：ライフプランニングフォース代表 栗原 良明さん

資料 3 「あおもり立志挑戦の会（ARC）」のとおり

・あおもりグローバルアカデミー海外研修

発表者：NPO 法人プラットフォームあおもり 石川 和圭子さん

資料 4 「平成 28 年度あおもりグローバルアカデミー フォローアップ海外研修報告」の
とおり

②教育庁の取組

・高校生農力開花プロジェクト事業の概要

説明者：県学校教育課高等学校指導グループ指導主事 小笠原 理高

・五所川原農林高等学校の取組

発表者：県立五所川原農林高等学校 生物生産科2年 高橋 なぎささん
" 食品科学科2年 木村 圭吾さん
" 環境土木科2年 伊東 実柚さん
" 蒔田 茂佳さん

資料5「未来輝く GAP やってまれプロジェクト実施報告」のとおり

・三本木農業高等学校の取組

発表者：県立三本木農業高等学校 植物科学科2年 小笠原 慶さん
" 佐々木 一樹さん
" 農業経済科2年 長谷川 由香理さん
" 日野口 優花さん

資料6「高校生農力開花プロジェクト事業実施報告」のとおり

③関係団体からの情報提供

・国立大学法人弘前大学

説明者：国立大学法人弘前大学副理事 曾我 亨さん

資料「人材育成事業【弘前大学】」のとおり

(3)意見交換

(知事)

ここから意見交換に入りたいと思います。

それでは、高等学校長協会の成田会長、お願いいたします。

(高等学校長協会)

まず、高校生の発表を聞いて、非常に元気をもらいました。どの学校の生徒さんも素晴らしいと思いました。この後ろにまた1万3千人くらいの高校生がいるかと思うと、本当に誇らしく、素晴らしい人財を抱えているということに再認識しました。

皆さんの具体的な体験が経験になって、その経験が血となり肉となり、そして自分自身の意志を作り、意志が生まれれば意欲が上がって、意欲が生まれれば自分の人生を変えることができる。そのような熱い想いにさせられました。

また、そういう機会を与えてくれた県の事務局に感謝したいと思います。

(知事)

そのほかにどなたか。

それでは、配付資料がございますので、青森県建設業協会の奈良専務理事、どうですか。

(建設業協会)

高校生の方々のプレゼンを聞いていて、本当に素晴らしく、熱意が伝わってきました。

いろいろな職業がある中で、我々建設業に携わっている者も、心の中には、地域を支えているという気持ちと、こういった素晴らしい方々が安心して暮らせるような社会基盤をつくっていくという使命感を持っています。

社会経済の変化が厳しい状況が続いておりまして、今、なんとかそこを脱するというところに来ております。そのような時に出てきたのが、全国的に言われている少子高齢化、そして、担い手の不足でございます。これは本県に限らず、全国的に同じような状況でございます。

そういった中で、今日聞いたような高校生の方々の熱い気持ちを、なんとか建設業の業界の方にも向けてもらえないかということで、国土交通省や厚生労働省でも様々な施策を考えております。それに呼応する形で、全国の業界でも、なんとか担い手、次世代の方々を確保できるよう、魅力を発信していきたいと改めて感じました。

本日はとても良いプレゼンを聞くことができました。

資料のほうは後でご覧いただけたらと思います。

(知事)

中学校長会の小林会長はいかがですか。

(中学校長会)

初めて直接現場の高校生のお話を聞かせてもらいました。頼もしいなというのが率直な意見です。大きな志を持っているというのは確かなのですが、志が大きだけでなく、実際に足元から一つ一つ始めているという実践力、しっかり形にしているというのが非常に頼もしく感じました。今後も頑張ってくださいと思います。

私は中学校という立場で、中学生の「人づくり」という視点で考えますと、関わる力、コミュニケーション能力や表現力というのが、子ども達の課題になっていると日頃感じています。そのため、少子化の子ども達に対して、「関わる」体験をたくさんさせていこうということで、地域の小学校と連動した活動、例えば、地域の清掃活動や、小学校に出向いていって勉強を教えるサポーター活動のほか、地域や町内の人達との清掃活動、一人暮らしで困っている家庭でのボランティアなど、そういった取組を進めています。これらを進めることで、コミュニケーション能力だけでなく、県が進めている、ふるさとを愛おしむ気持ちにもつながっていくのではないかと思います、今後も進めていきたいと思っております。今日高校生の方々の発表を聞きながら、そう強く感じました。

(知事)

「今をつくる人づくり」も含めて、中小企業団体中央会さんから、どうですか。

(中小企業団体中央会)

非常に参考になる発表を聞かせていただき、私どもは県の中小企業をサポートする団体ですが、そういうところに皆さんのように志のある方々が就職していただける、あるいは、何らかの形でビジネスチャンスを作っていただけることを期待したいと考えておりました。個人的な感想にはなりますが、中央会は国から交付金をいただいて、補助事業の「ものづくり基金」をこれまで5カ年間やってきております。いま募集しております、青森県では97件のご応募をいただいております。実は、これまでの5回、青森県が東北六県の中でいつも一番応募件数が少ないのです。そこで、県内の銀行さんや税理士さんなど様々な支援機関を通じて、設備投資するときの補助金ということで500万、1,000万、3,000万円という上限があるのですが、ずっと掘り起こしをしてきました。結果的には97件で、やはり一番少なかったのですが、なぜ少ないのかということについて、青森県の課題として、「やってみよう」という一歩踏み出すのが難しい、というのが最近私自身わかってきました。そういう意味で、本日もご出席いただいている皆さまは、まさに志を持って、世界に羽ばたく、あるいは、地域の中で活動していくということを実践されている皆さまですので、ぜひ今後は、やりたくてもなかなか踏み出せないという人達もたくさんおりますので、皆さんの横のネットワークに加えて、そういった方々も一緒に仲間に入れて活動していただけるような、地域、職域などを意識してやっていただけるとありがたいと感じました。

(知事)

チャレンジしてほしいということですね。
そのほか、どなたかありませんか。
今日はPTAの立場ですが、外崎さん、どうですか。

(PTA 連合会)

まず、高校生の皆さんのプレゼンテーション能力の高さに、非常に驚かされました。同じ世代の子を持つ保護者としても、大人はいろいろなことをいろいろ考えるわけですが、そういう域ではなく、子ども達は自ら考えて、行動して、さらに、提案する能力にもすごく長けていて、力強く、今日この場に来ることができて嬉しく思いました。これからの未来を担う皆さん、本当に頼もしく、嬉しく思いました。

(知事)

高専さんのほうで、人財育成というのを含めて、何かお願いできれば。

(八戸工業高等専門学校)

高校生の皆さんのプレゼンテーションは、毎度、素晴らしいと思っています。皆さんに共通していることは、世界を意識している、ということ。地域に根ざして世界を目

指すというのが、非常に素晴らしいと思いました。

グローバルマインドとかスピリットと言いますが、未知の環境に飛び込んで行く、向こう見ずさがあれば、今やっている体験を通して、そういう力をつけていって、どんどん世界に出て行ってほしいと思います。青森県をどんどん育てていってほしいと思います。

本校では昨年度から4学期制というのをやっていて、9月、10月は秋学期ということで授業はありません。その間何をやっているかと言いますと、自主探求ということで、答えが一つではない、あるいは、答えがない課題を、一人一提案必ず見つけて、2ヶ月間、調査や実験等を通してつきつめるということをしています。これまでの教え込む教育から、自らどんどん勉強していく、そういう取組を取り入れて、今年度は2年目です。面白いこと、新しいことを生み出していける人間を創っていかれたらと思っております。

(知事)

それでは、青森公立大学からお願いします。

(青森公立大学)

今日は高校生の皆さんの輸出などのお話を聞いて、感銘を受けました。

私の専門は国際経済学です。輸出の重要性、いかに海外からの需要を取り込むかということ、国際経済理論、実証企業理論をもとにして講義しておりますが、高校生の皆さんが、実際に海外に行ってやっているというのは、本当に素晴らしいと思います。座学ではなく、実際にやってみる、体験するということが一番重要であり、価値あることだと思っております。一つ申し上げたいことは、これからの皆さんにとって、なぜか、といった疑問に対して果敢に挑戦していってほしいと思います。そして、重要なのは議論する力、コミュニケーションですね。英語もそうですが、語学がもとになっている論理的思考というのは、これからますます重要になってくると思いますので、皆さんにも力をつけていっていただきたいと思っております。

(知事)

アドバイスありがとうございます。

それでは、柿崎さん、やっぱり君たちが宝だと思いますので、お願いします。

(青森高校・柿崎さん)

発表を聞いていて思い出したことがあります。次世代リーダー養成塾で聞いた言葉なのですが、「ローカルからグローバルへ」という考え方はあるのですが、「ローカルを突き詰めることでグローバルにつながることもある」という話を聞いたことを、今日皆さんの発表を聞いて思い出しました。

「県の人財」と呼ばれるような人財になっていきたいと思っております。

(知事)

残りの時間はあとわずかですが、どなたか。
では、佐々木さん、お願いします。

(三本木農業高校・佐々木さん)

今日こういう貴重な時間をいただいて、自分自身、地域をテーマとした課題を発表することができて嬉しく、また、いろいろなことを吸収できて、とても良かったと思います。柿崎さんもおっしゃっていましたが、地域を担えるような人財になっていけるよう、頑張っていきたいと思います。

(知事)

ぜひ頑張ってください。
それでは最後に、事務局からお願いします。

(松野課長)

冒頭の知事の挨拶でもありましたが、来年度、「あおもりを愛する人づくり戦略」が策定されてから、まる10年となります。

「人づくり」というのは、長期間継続的に行うことも重要ですが、その時代時代に応じて戦略を見直し、様々な取組についても新しいものを考えていく必要があると考えています。戦略の見直しは来年度ですが、今までの戦略に基づく取組をしっかりと検証した上で、これからは何が必要かを改めて考えていきたいと考えております。

今日の会議には、各界の皆さまが出席していらっしゃいますので、これからの時代を見据えて、どういう人財が必要なのか、どういう取組を必要なのか、ということについて何かご意見をいただければ、大変ありがたいと考えております。

(知事)

10年目ということになりますので、どういうことを主眼としていくべきかが課題となっていくと思います。今回に限らず、ぜひ積極的にいろいろな場面で提言いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4 知事あいさつ (県知事 三村 申吾)

5 閉会